



平成 25 年 3 月 28 日

各 位

社名:株式会社中山製鋼所
代表者名:代表取締役社長 藤井 博務
(コード番号: 5408 東証一部)
問い合わせ先:取締役 松岡雅啓
TEL: 06(6555)3035

業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

平成 25 年 2 月 14 日に公表しました平成 25 年 3 月期の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。また、平成 25 年 3 月期通期において、下記の通り、特別損失を計上しますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 3 月期 通期業績予想との差異 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(1) 連結業績予想数値の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	140,000	△5,000	△6,500	—	—
今回修正予想 (B)	140,000	△5,000	△6,500	△57,000	△442.86
増減高 (B-A)	0	0	0	—	—
増減率 (%)	0.0	0.0	0.0	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 3 月期)	171,763	△4,968	△6,337	△11,619	△90.27

(2) 個別業績予想数値の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	85,000	△6,500	△8,500	—	—
今回修正予想 (B)	85,000	△6,500	△8,500	△56,000	△435.09
増減高 (B-A)	0	0	0	—	—
増減率 (%)	0.0	0.0	0.0	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 3 月期)	113,881	△6,571	△8,343	△12,864	△99.94

2. 差異の理由

本日別途開示しております「地域経済活性化支援機構による中山製鋼所への再生支援決定のお知らせ」に記載のとおり、当社は、平成25年3月28日開催の取締役会において、株式会社三菱東京UFJ銀行と連名にて、株式会社地域経済活性化支援機構に対して、事業再生計画（以下、「本事業再生計画」といいます。）を提出して再生支援の申込みを行うことを決議した上でその申込みを行い、同日、同機構から再生支援決定の通知を受けました。本事業再生計画に基づき、特別損失として今後の業績動向を検討した結果の減損損失及び棚卸資産評価損を、当第4四半期にて認識することから、通期の連結および個別の業績予想を上記のとおり修正いたします。

また、平成25年2月15日に開示しました「子会社の異動（株式の譲渡）に関するお知らせ」と、同月28日に開示いたしました「子会社の異動（株式の譲渡）に伴う連結決算に与える影響額ならびに特別利益（負ののれん発生益）の計上に関するお知らせ」のとおり、当社の連結子会社であった南海化学株式会社の株式の譲渡により、個別においては特別利益として関係会社株式売却益約24億円を、連結においては特別損失として関係会社株式売却損約16億円と特別利益として負ののれん発生益約12億円を、それぞれ上記の修正内容に織り込んでおります。

3. 特別損失の発生について

下記の通り、平成25年3月期第4四半期連結会計期間において、連結および個別の特別損失約570億円（第3四半期連結累計期間計上分は除く）を計上します。なお、翌期以降においては、本事業再生計画に基づく各種施策の実施により、営業費用の減少を見込んでおります。本事業再生計画の詳細に関しましては、本日別途開示しております「地域経済活性化支援機構による中山製鋼所への再生支援決定のお知らせ」をご参照下さい。

① 減損損失

本事業再生計画に基づき、今後の当社の業績動向などを慎重に検討した結果、減損損失約530億円を計上します。

② 棚卸資産評価損

本事業再生計画に基づき、当社の貯蔵品にかかる評価の見直しを行い、棚卸資産評価損約35億円を計上します。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上